

vol. 2333

【発行】大分県高等学校教職員組合教宣部 大分市大字下郡496-38 大分県教育会館  
TEL / (097) 556-2838 FAX / (097) 556-8998 MAIL / ohtwu@view.ocn.ne.jp

# 大分県高教組情報

【発行者】大野 真二 【印刷】(株)佐伯コミュニケーションズ 【売価】30円(組合員の購読料は組合費の中に入れて徴収しています)



## 今号の掲載内容 (掲載順)

- 教員採用試験対策講座
- 九協障害児学校部委員会 参加報告
- 原水爆禁止大分県民会議第62回定期総会
- 連合大分2025政治研修会

## 教員採用試験対策講座

とき 3月8日(土)、4月19日(土)、5月17日(土)  
ところ 高教組研修所(3、5月)、教育会館101研修室(4月)

高教組教員採用試験対策講座を実施しました。第1回(3/8)は「教育原理」を、第2回(4/19)は「教育法規」と「教育原理」を、第3回(5/17)は「教育時事」と「教育法規」と「教育原理」を、TAC株式会社の対策講座を視聴する形式で開設しました。

TAC株式会社の対策講座は現場での実践を踏まえた上で解説をしてくれます。参加された方から、「ポイントが分かりやすくまとめられており、どこを重点的に学習するとよいかを理解することができた」「採用試験を受ける方が集まっていたので、モチベーションがさらに上がった」「時事はその都度新しくなるので、大変ためになった」「一次だけでなく、二次まで意識した講義を受けられてよかった」「今までの勉強内容の確認も、新たな発見もできた」「しっかり復習して試験に備えたい」などの感想をいただくなど、大変好評でした。

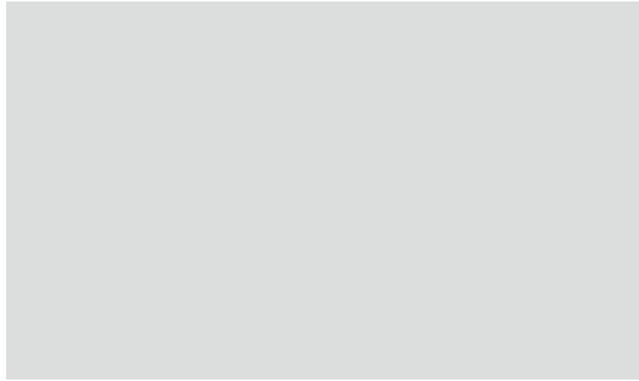
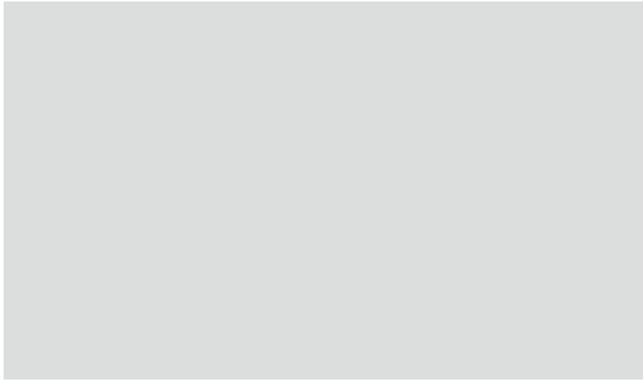
今年度も、教員採用一次試験は6月実施です。受講者に聞くと、以前のように7月実施のほうが良いとの意見が多数でした。県教委から「(採用について)できることはすべてします」との言葉はもらっていますし、組合員にも様々な意見があると思います。その中で、臨時・非常勤の方々から、年度当初の様々な業務と採用試験対策の両立に不安を抱えている胸の内を改めて聞くことができました。この思いは繰り返し、県教委に伝えていきます。

二次試験対策講座は、「面接Ⅱ：個人面接」にむけて、青年部・執行部が面接官になって「個人面接練習」を実施します。大分高教組は、教職員を目指すみなさんを精一杯支援します。

## 九協障害児学校部委員会 参加報告

とき：5月10日(土) ところ：沖縄県教育会館

お世話になります。沖縄はちょうど梅雨にはいったようで、せっかくの沖縄でしたが、どしゃぶりの沖縄でした。が、雨の沖縄も貴重かと思いました。



委員会では、さまざまな課題があげられ、なかでも医療的ケアの看護師の保険はどうなっているのか、また、学校の看護師は夏季休業中は無給ですが、福岡では、看護協会？からの派遣だから、夏季休業中は別のところに派遣されており、そこから給料が出るような話もありました。

また、8月の佐賀の学習会に大分高からもレポートや司会など出席する予定です。 (大分支援分会 堀田文雄)

## 原水爆禁止大分県民会議第62回定期総会

とき 5月24日(土) ところ アイネス

原水禁大分県民会議の定期総会が、5月24日(土)にアイネスで開催されました。2024年のとりくみの総括と2025年度の活動の方針、また会計報告や役員選出が行われました。

総会后、伊方原発をとめる会弁護団の田中良太弁護士による、「大分地裁判決(2024,3,7)の不当性と福岡高裁でのたたかい」と題した講演がありました。伊方原発に反対する市民運動団体からの参加もあり、原水例年より数十人多い130人の聴衆を集めました。

別府市出身の田中さんは、弁護士となって地元の事務所に所属した当初から、「弁護士としての自分の活動のほぼ全て」というくらい伊方原発差し止め訴訟に携わった方です。「原発をとめる」と訴えるだけでは裁判は成り立たず、「原発稼働で、何がどのように危なくて、どこにどういう被害をもたらすか」を明らかにせねばならず、突飛な話に聞こえる阿蘇山の火砕流が議論になるのも裁判を成立させるためには必要な視点となるそうです。四国電力側の主張を一つひとつ覆す議論を行いながら公判が続いているということが、田中弁護士の話から分かりました。一審敗訴をうけ、控訴審が福岡高裁で行われています。伊方原発運転差し止めを求めてたたかいは続いています。

## 連合大分2025政治研修会

とき 5月24日(土) ところ ソレイユ7階「カトレア」

5月24日(土)、連合大分2025政治研修会が行われ、連合政治センター局長の照沼光二さんによる「私たちの暮らしと政治」と題した講演がありました。

まず、私たちも誤解しがちですが、連合は「二大政党制」ではなく、政権が交代しやすい「二大政党的体制」を目指しているとのこと。現在の連合は、どこの政党も支援・支持してなく、選挙の都度人物を重視しています。また、立憲民主党・国民民主党が協力することは求めるが、一本化は求めています。さらに、「悪夢」とのレッテルをはられた民主党政権下の3年3ヵ月で、所得制限なしの高校授業料無償化や子ども手当の制度を実現したことは忘れてはならないと強調されました。

「労働組合の基本目的である『雇用と生活の安定』を実現するためには、国・地方の政策・制度の改善・改革をめざすことが不可欠です。労働組合が政治活動に取り組むうえで、組合員一人ひとりが政治に対する意識を高め、政治活動に自ら参加することが欠かせません」と照沼さんは言われました。

自民党の「自己責任主義」ではない、セーフティネットが張りめぐらされた安心社会の実現に向け、私たちも頑張ればと思います。